

岡崎市

所属議員

鈴木英樹・加藤嘉哉・原紀彦・白井正樹

【活動選定項目】 国・県・市町で取り組むテーマを設定	① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車) ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現 ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上	④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成) ⑤ 子育て支援策 ⑥ 行政の DX 推進施策 ⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)
具体的活動 (調査・研究含む)	1・11 月 24 日～29 日の 6 日間、自動運転バスの実証運行を実施。東岡崎駅から岡崎市役所を經由して中央総合公園までをレベル 2 で走行。中央総合公園・駐車場内にて運転席無人での走行。運転席無人での走行は、岡崎市では初の取り組み。議員も事前に試乗の案内があり、会派メンバー全員で試乗(11 月 19 日)交通渋滞の緩和に向けた「マイカーに頼らない“まちなか周遊”」の促進策。 ・渋滞解消による排気ガス排出量の削減 ・公共交通(バス)の利用によるマイカー移動削減による排気ガス排出量の削減	【図や活動の様子が分かる写真など】
選択した項目 テーマ ①		
今後の活動	2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素先行地域事業、重点対策加速化事業と合わせ新規技術の導入も視野に入れ、様々な手法を検討していく。	

具体的活動 (調査・研究含む)	【目標】脱炭素先行地域づくり事業におけるゼロカーボンドライブの実現。 【内容】 公用車を EV に転換し、市民や観光客、周辺事業者とのカーシェアリングを計画。 令和 6 年度中に公用車 68 台を EV 化し、そのうち 2 台をカーシェアリング事業として充当予定だったが、環境省より「 <u>規模の拡大</u> 」及び「 <u>導入時期の前倒し</u> 」要請あり。 令和 6 年度中に <u>EV 化した全 68 台の公用車をカーシェアリング用に充当予定。</u>	【図や活動の様子が分かる写真など】
選択した項目 テーマ ①		
今後の活動	カーシェアリング導入による実績・効果の検証を含め、行政と協調し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを進めていく	